

行政評価制度における事後評価一覧表の公表について

本市では、平成 28 年度から支援システムを導入し本格的に行政評価を実施しており、この度平成 30 年度実施事業の評価結果がまとまりましたので公表します。

なお、評価対象事業につきましては、主要事業等から抽出し、今後、事中評価を行い評価を継続していきます。

また、評価結果を基に事務事業の見直しと、PDCAサイクルによる行政運営について更なる意識の高揚を図ります。

【表の見方】

①	②	③	④	⑤	⑥				
No.	事務事業名	課名	平成30年度 決算額 (千円)	事業の概要	妥当性	有効性	効率性	総合評価	説明
1	防災士の養成及び スキルアップ	総務課	2,411	自主防災組織の自助及び共助が育つように活動を支援する防災士の養成講座を実施し、地域防災支援者として防災士を養成する。	A	B	A	B	防災士を複数人設置している自治会が増えたため登録者数は増加しているが、自治会単位での設置率は目標に届かない状況である。全自治会に設置されるよう、継続的に働きかけを行っていく。
2	山北地区情報通信施設 維持管理事業	総務課	107,045	山北地区に整備されている情報通信施設・設備（情報通信網、ケーブルテレビ放送、告知システム等）を適正に維持管理し、良好なサービスを提供する。	A	A	B	B	基本的には、今後も事業を継続することが適当（評価A）と考えるが、維持管理経費が増加傾向にある現状から、使用料の増額について検討が必要と考える。

①：事務事業の名称です。

②：事務事業に係る平成 30 年度の決算額を千円単位で示してあります。

③：事業の概要を説明しています。

④：事務事業の妥当性、有効性、効率性の観点から A～D で評価しています。A 以外は事業に対する何らかの検討事項があります。

⑤：総合評価を A～D で評価し今後の事業の改善・改革の方向性を示しています。A（現状どおり事業を進めることが妥当）、B（事業の進め方の改善検討）、C（事業規模・内容、実施主体等の見直しが必要）、D（事業の完了または統廃合など抜本的な見直しが必要）

⑥：総合評価結果について担当課の説明です。

fl L

5
6
7
8

			'S						
%			&Z(%&						&Z 'S (%&
&			%&+ZS()						
'			%(Z**-						fl
(,+Z, &&						
)			&&Z-(S						'S +
*			*&						fl L
+			*&Z&*	&&					

